

## 合志市総合政策審議会 【平成 29 年度 第 5 回 会議録】

### (1) 会議の名称、開催日時及び開催場所

- ・平成 29 年度 第 5 回合志市総合政策審議会
- ・平成 30 年 3 月 20 日（火）午後 3 時 30 分～5 時 00 分
- ・場所 合志市役所 合志庁舎 2 階大会議室

### (2) 会議の議題

- (1) ふるさと創生基金活用事業に係る助成申請に伴う諮問
- (2) 施策評価における平成 30 年度取り組み方針について

### (3) 会議の公開、非公開又は一部非公開の別

- ・公開

### (4) 出席委員及び欠席委員の氏名

[出席委員] 辻敏輝委員、渋谷由佳利委員、田代宏男委員、西田壽美雄委員  
大場百合子委員、田端眞知子委員、緒方明委員、杉野憲三委員  
青木建二委員、竹原憲治委員、齊場俊之委員、上野志折委員  
矢野辰善委員、緒方幸代委員、寺本秀信委員、坂井さゆり委員  
今村豊委員、月野亜衣委員  
(18 名)

[欠席委員] 弥頭幾久雄委員 (1 名)

[事務局] 大茂竜二企画課長、坂井竹志企画課長補佐、曾我陽子企画課主幹  
加藤大蔵企画課主事

### (5) 審議内容

以下のとおり (要旨)

(6)傍聴者 0 名

大茂課長：平成 29 年度第 5 回合志市総合政策審議会を開会します。今日は今年度最後の会議になりますので、よろしくお願ひします。それでは、緒方会長よりご挨拶いただきたいと思ひます。お願ひいたします。

緒方明会長：改めまして、皆さんこんにちは。第 5 回の審議会、最後の会議ということでございます。大変皆さんお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

本日の審議事項は 2 点ほどでございます。限られた時間の中ですが、ご審議をよろしくお願ひいたします。

大茂課長：ありがとうございました。早速、議題の方に入ります。審議の方、議長は会長にお願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

緒方明会長：それでは議題に沿って審議を始めてまいります。

まず、1 番目の議題「ふるさと創生基金活用事業に係る助成申請に伴う諮問」です。担当課より説明をお願ひいたします。

## (1) ふるさと創生基金活用事業に係る助成申請に伴う諮問

### 【事務局より説明】

緒方明会長：ただいま、担当課から説明がありました。まず、1 件目総合馬術の研修について、質問等ありましたら挙手をお願いします。

矢野委員：住所は合志市ですか？出身が合志市だと該当するのですか。

加藤主事：出身だけでなく、住所が合志市であることが要件です。

大場委員：何度も外国への大会に出場する場合も、対象になるのですか。

加藤主事：5 年に 1 回のみ申請が出来ます。

緒方明会長：次の九州—フランス食品ビジネスミッションに参加した案件について何かお尋ねはありませんか。

矢野委員：参加者名簿を見ると他に合志市の方がいますが、今回申請されていないのは、5年以内に別の研修を申請されたからですか。

加藤主事：はい。2～3年前に申請されていますので、今回は申請をされていません。

緒方明会長：すでに申請をされていて、5年経過していないということですね。他に何かありませんか。ないようでしたら、次の案件に移りたいと思います。ロイヤル・ウィンターフェア視察と米国・カナダ酪農視察研修について質問等はありませんか。

矢野委員：54ページの国内移動旅費は自己負担とありますが、こちらも補助対象として金額を計上しなかったのですか。

加藤主事：ご本人が、領収書等が揃わなかったので申請に加えられませんでした。

矢野委員：実際は申請可能ですか。

加藤主事：上限10万円までは可能です。

緒方明会長：他に何かありませんか。ないようですので、それではまず1つ目の案件についてお諮りしたいと思います。この助成について承認することに異議はありませんか。異議なしということで、1つ目の案件については承認することにいたします。諮問事項なので答申を出したいと思います。2つ目の研修3件について承認することに異議はありませんでしょうか。異議なしということで答申を出したいと思います。3つ目の研修の助成について、承認することに異議はありませんでしょうか。異議なしということで、承認することに決定いたします。

ありがとうございました。

続きまして、2番目の議題「施策評価における平成30年度の取り組み方針について」事務局より説明をお願いします。

大茂課長：議題1の中で、2つ目の研修の緒方克也さんと佑香さんの案件がありましたが、委員である緒方幸代さんのご家族なので、事務局が配慮して退席いただくところでしたが、特に異議がないようでしたので、そのまま採決させていただきますことをお詫び申し上げます。

## (2) 施策評価における平成30年度取り組み方針について

## 【事務局より説明】

緒方明会長：ただいま、担当課から説明がありました。ご意見等をお願いします。

矢野委員：1ページ④の取り組み内容が抽象的なので、もう少し具体的に説明をお願いします。また3ページの議会の意見に対する取り組み③ですが、何の情報を収集していくと自主財源につながっていくのか教えてください。

大茂課長：まず④の国・県有地の施設等の有効活用についてですが、まず国有地としては、菊池恵楓園の構想、御代志交差点三角地、御代志駅裏菊池恵楓園入所者自治会の土地、再春荘病院の交差点改良など、その有効活用について交渉しています。県有地に関しては、九州沖縄農業研究センターや学園大学のグラウンドなどです。今後、まちづくりのために有効活用していこうとしているところ です。

③についてですが、平成35年度までの財政計画の見直しを今行っているところ です。今後、小中一貫校の建設を予定していて、建設予算が莫大な金額になります。また今までにヴィーブルの復旧費がかなりかかっている、基金も大幅に減っています。まずはこのような現在の厳しい財政状況(情報)を職員で共有して、無駄な予算を使わない努力をしていくこと、同時に国県の補助金の調査をしっかりと、自主財源確保に力を入れることになります。

竹原委員：経営方針が決まったら、どのような流れで予算が編成されるのですか。

大茂課長：通常は、12月頃に経営方針を決定し、3月議会で当初予算を諮って、承認を得て次年度予算が決定します。

今回は、市長選挙がある関係で、3月議会を2月に繰り上げ、当初予算を骨格予算のみとし、政策的予算は6月補正で肉付けをするという流れになります。

なお、骨格予算は扶助費が主なものであり、全体の8割方についてはいる状況です。

緒方明会長：これは行政経営の循環ということで、実際この施策をして効果があったか、実践できたかということを経営者が市民の目線で評価をし、次の年へ向けた取り組みにつなげていきます。毎年行っています。私たち委員がしてきたことが、少しでも市の経営、運営に寄与できればと感じています。また、次年度に施策の評価をする際に、このような効果があった、こういう実践することができましたということを経営者から報告があればなと思いました。

議題2についてはこれで終わりたいと思います。それでは(3)その他に移ります。事務局から説明をお願いします。

(3) その他 「ふるさと創生基金活用状況について」

【事務局より説明】

緒方明会長：事務局より報告がありました。みなさまから何かありませんか。それではこれで本日の会議は終了したいと思います。ありがとうございました。